

図-1 道路舗装標準断面図

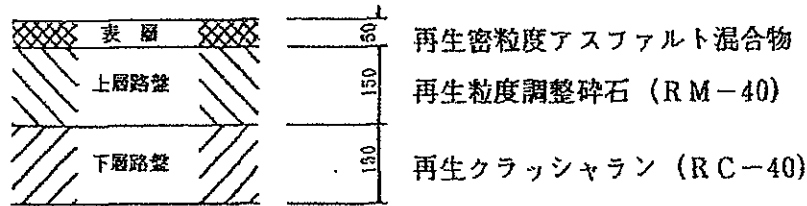
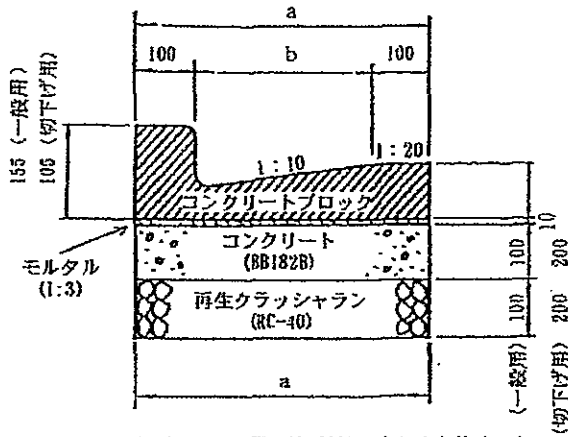


図-2 排水施設構造図

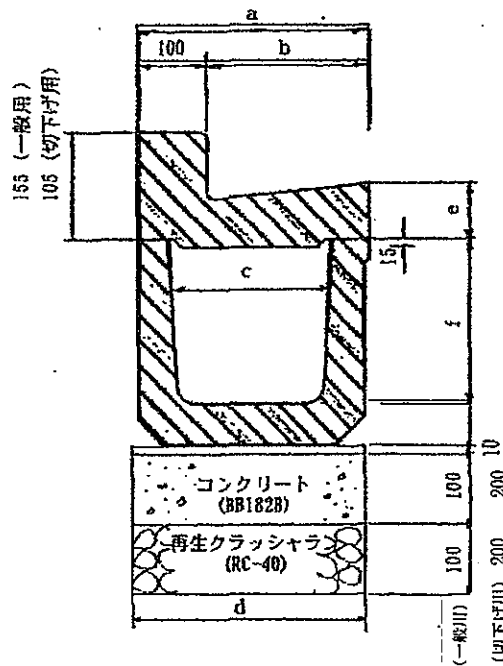
(1) L型溝構造図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

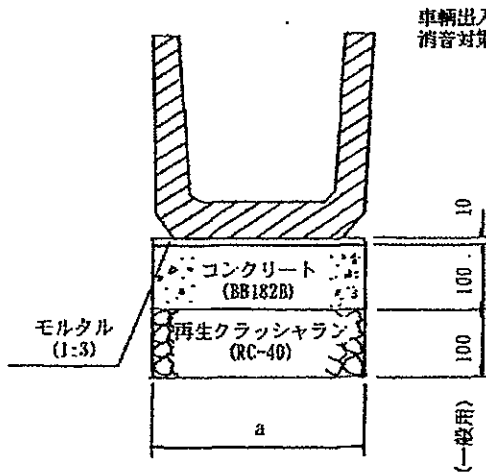
呼び名	寸法	
	a	b
250B	450	250
300B	500	300
350B	550	350

(2) LU型溝構造図



呼び名	寸法					
	a	b	c	d	e	f
LU型240用	350	250	240	350	120	240
LU型300用	420	320	300	420	125	300

(3) U形側溝構造図

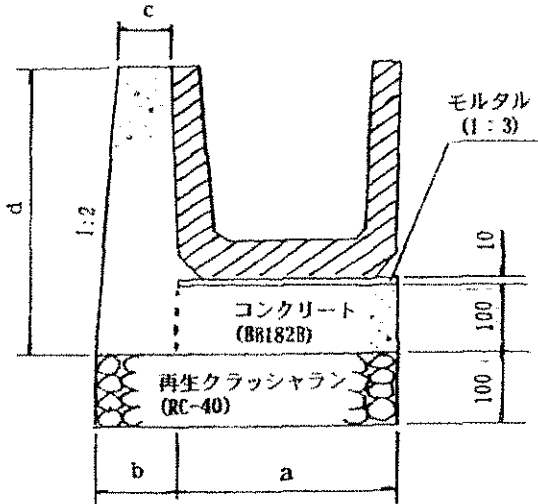


車輛出入口部のグレーチングの蓋は消音対策を施す。

寸法表

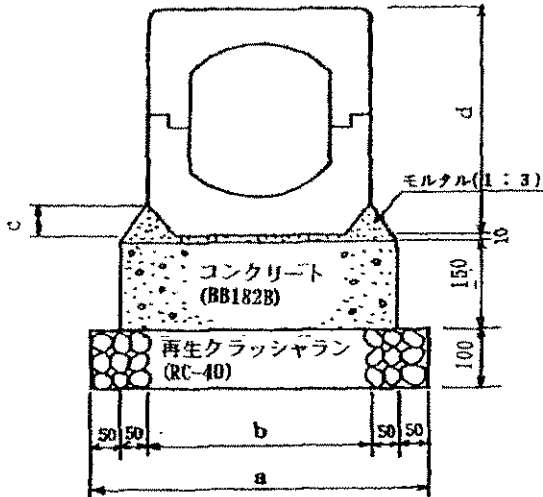
呼び名	寸法				
	a	b	c	d	e
180	240	300A~C	360A, B	450	
a	250	300	370	460	560

(4) U形補強コンクリート構造図



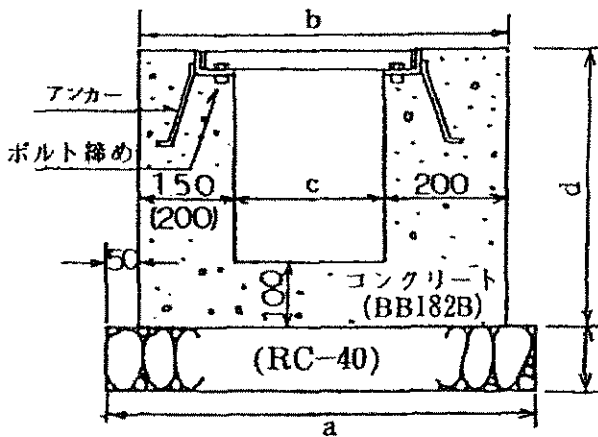
呼び名	寸法			
	a	b	c	d
240	330	180	100	100
300A	400	182	100	100
300B	400	194	100	100
300C	400	227	120	120
360A	460	195	100	100
360B	460	227	120	120
450	560	276	150	150

(5) 組合せ暗渠ブロック構造図



呼び名	寸法			
	a	b	c	d
240×240	580	380	40	380
300×300	640	440	50	440
360×360	710	510	50	510
450×450	830	630	60	630
600×600	1000	800	60	800

(3) 横断開渠構造図



呼び名	寸法			
	a	b	c	d
240	685	585	240	430
300	750	650	300	490

図-3 マンホール構造図

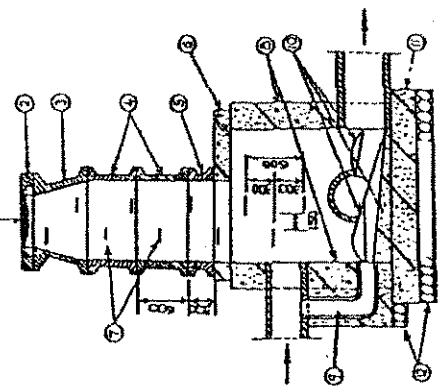
標準マンホールの形状別用途

呼び方	形状寸法	用途
1号マンホール	内径 90cm 円形	管の埋設深さが1,500mm以下の管の中継点、 450mm以内径1,500mmまでの管の終了点
2号マンホール	内径 120cm 円形	内径900mm以下の管の中継点および内径 600mm以下の管の終了点
3号マンホール	内径 150cm 円形	内径1,200mm以下の管の中継点および内 径100mm以下の管の終了点
4号マンホール	内径 180cm 円形	内径1,500mm以下の管の中継点および内 径900mm以下の管の終了点
5号マンホール	内径(長さ) 210 × 120cm 角形	内径1,500mm以下の管の中継点
6号マンホール	内径(長さ) 240 × 120cm 角形	内径2,200mm以下の管の中継点
7号マンホール	内径(長さ) 300 × 120cm 角形	内径2,400mm以下の管の中継点

特殊マンホールの形状別用途

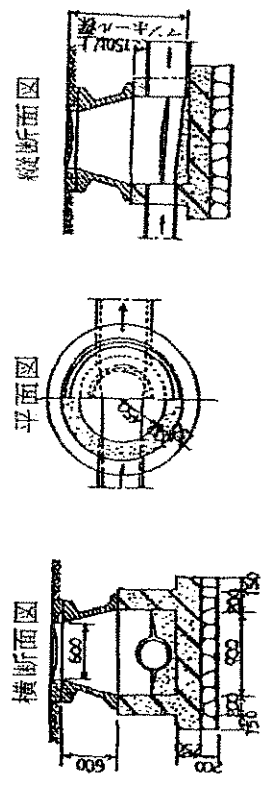
呼び方	形状寸法	用途
特1号マンホール	内径(長さ) 60 × 90cm 角形	土留まりが特に少ない場合、道の埋設管等の 関係管で1号マンホールが設置できない場合
特2号マンホール	内径(長さ) 120 × 120cm 角形	内径1,000mm以下の管の中継点で、円形マン ホールが設置できない場合
特3号マンホール	内径(長さ) 140 × 120cm 角形	内径1,200mm以下の管の中継点で、円形マン ホールが設置できない場合
特4号マンホール	内径(長さ) 180 × 120cm 角形	内径1,500mm以下の管の中継点で、円形マン ホールが設置できない場合
埋設管の管きり 用マンホール	内径 90, 120cm 円形	長方形より、角でい(隅)取りを専らとして ールと土留による下管管まりの中継点。 ただし、Dは管まりの内径。
埋設管の管きり 用マンホール	内径(長さ) D × 120cm 角形	管まりの内径が0.9m以上となる場合。

マンホール各部の名称

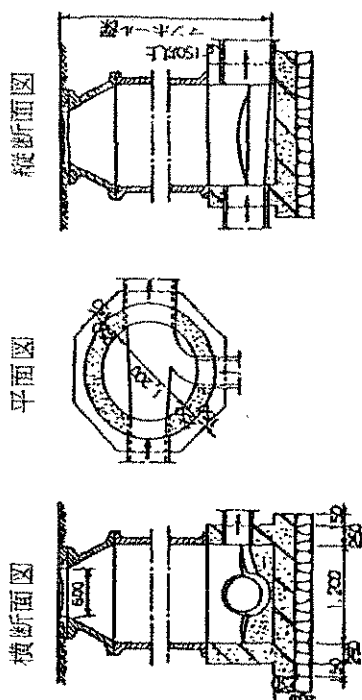


- ① マンホールふた
- ② マンホール枠
- ③ マンホール枠高さ h=60cm
- ④ マンホール枠径 h=30cm
- ⑤ マンホール枠
- ⑥ マンホール枠
- ⑦ マンホール枠
- ⑧ マンホール枠
- ⑨ マンホール枠
- ⑩ マンホール枠
- ⑪ マンホール枠

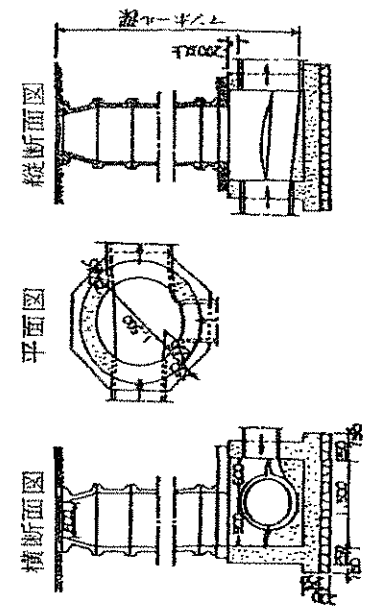
(1) 1号マンホール (内径90cm) 構造標準図



(2) 2号マンホール (内径120cm) 構造標準図

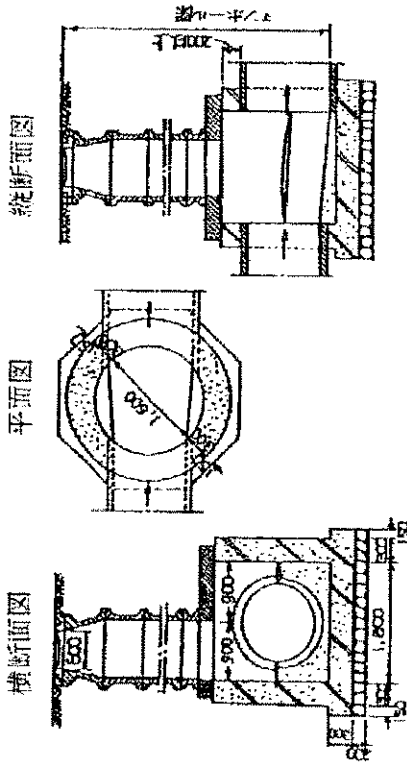


(3) 3号マンホール (内径150cm) 構造標準図

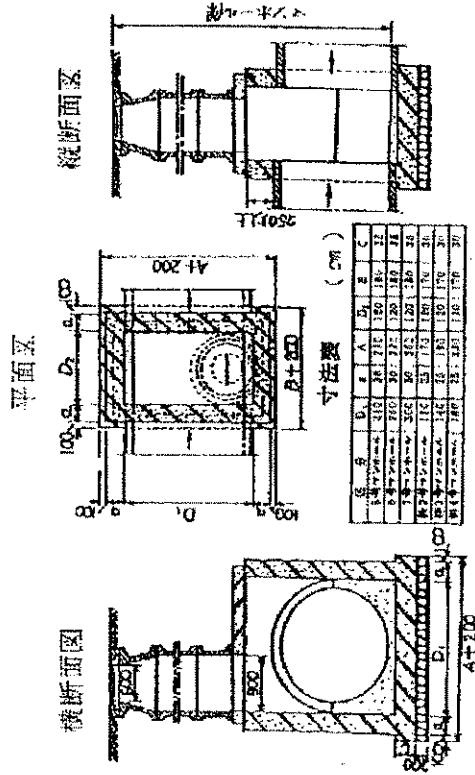


※ 足掛け金物の製品については、標準型を
参照のこと。同マンホール内の実測までの
足掛け金物より、45cm以内となるまで足掛け
金物を設置する。

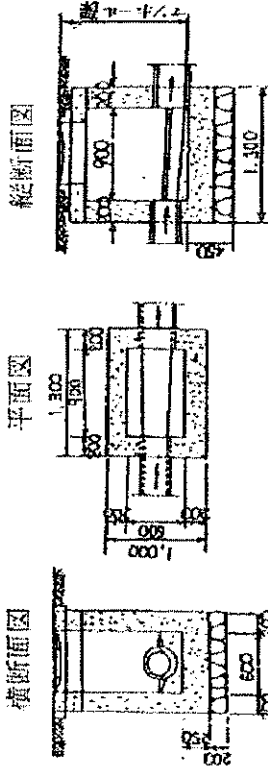
(4) 4号マンホール (内径180cm) 構造標準図



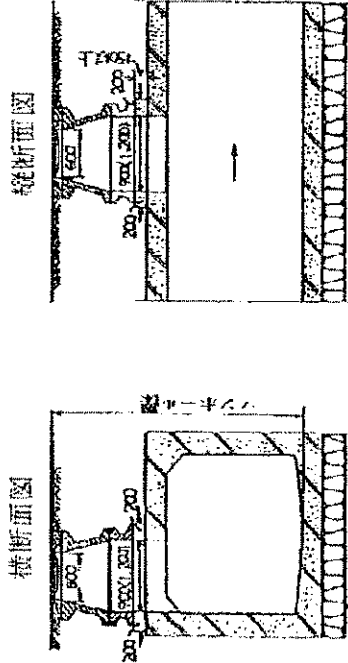
(5) 5~7号、特2~4号マンホール (角形) 構造標準図



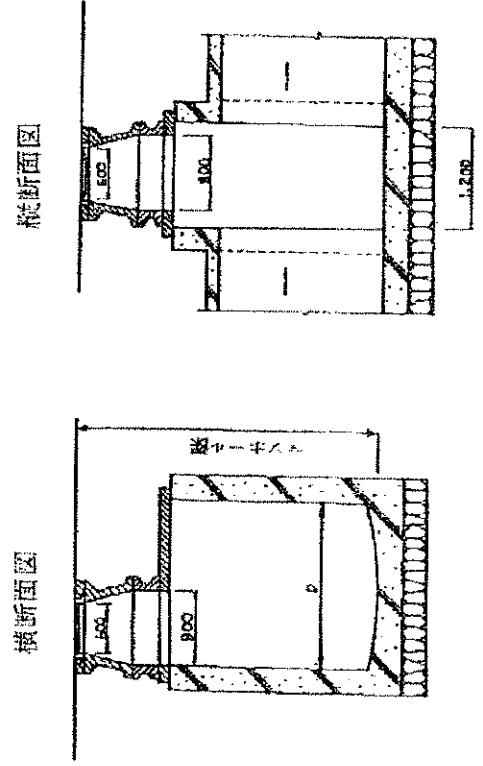
(6) 特1号マンホール (内のり 60×90cm) 構造標準図



(7) 現場打ち管きよ(長方形きよ)用マンホール (内径90, 120cm) 構造標準図



(8) 現場打ち管きよ(内りのりD×120cm) 構造標準図



図一4 副管構造図

(9) 1号人孔(組立式)構造図

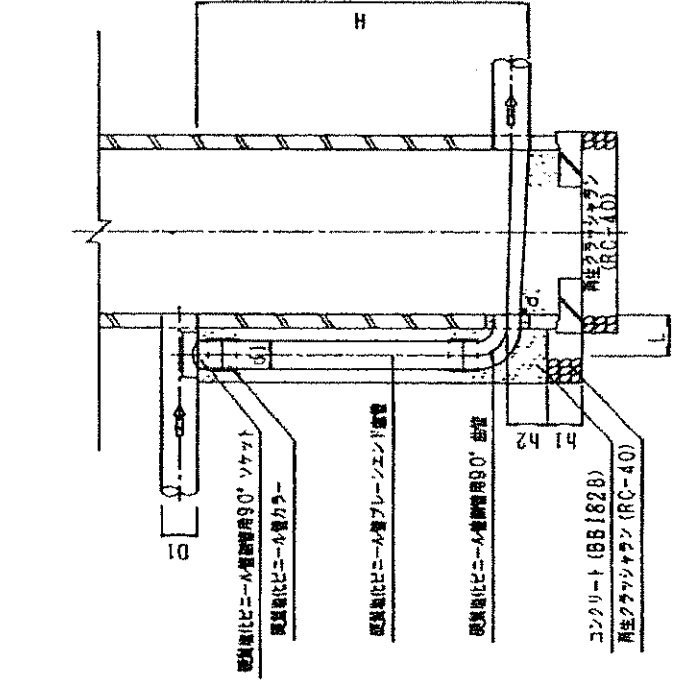
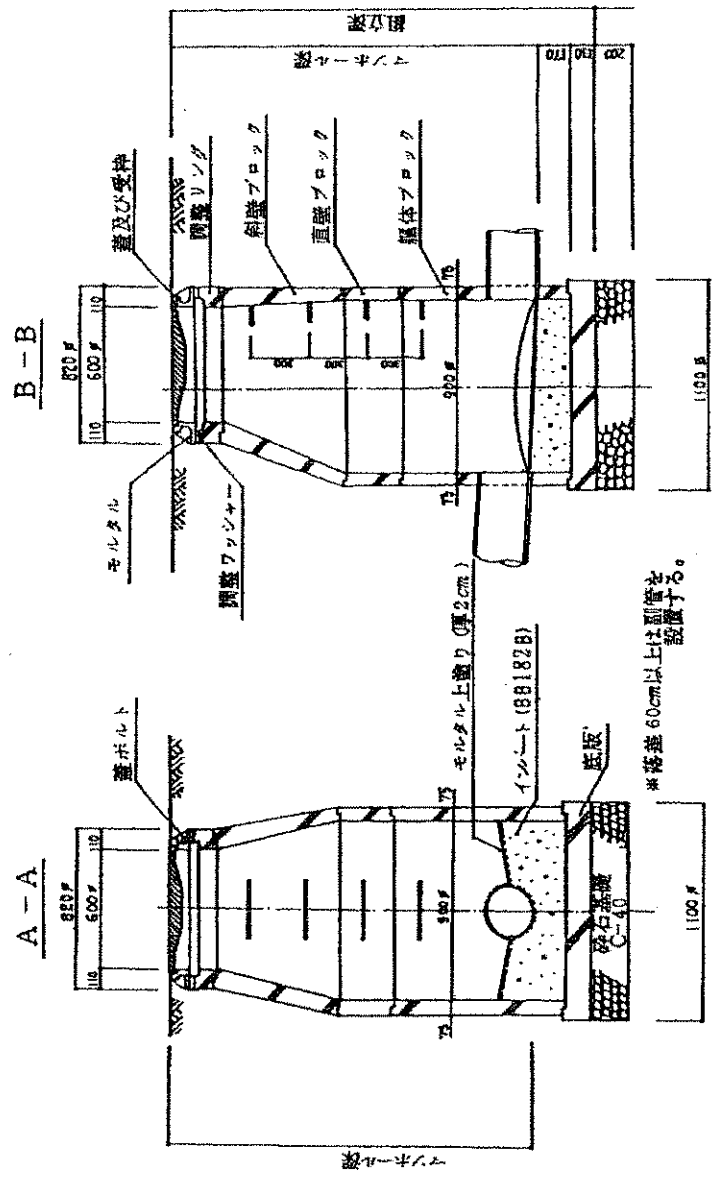
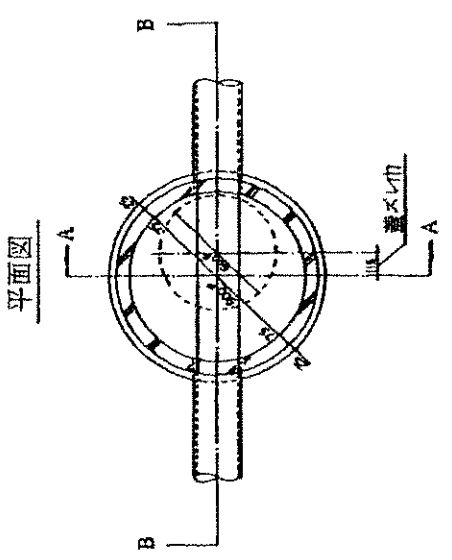
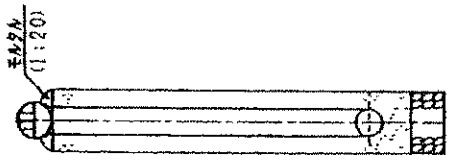
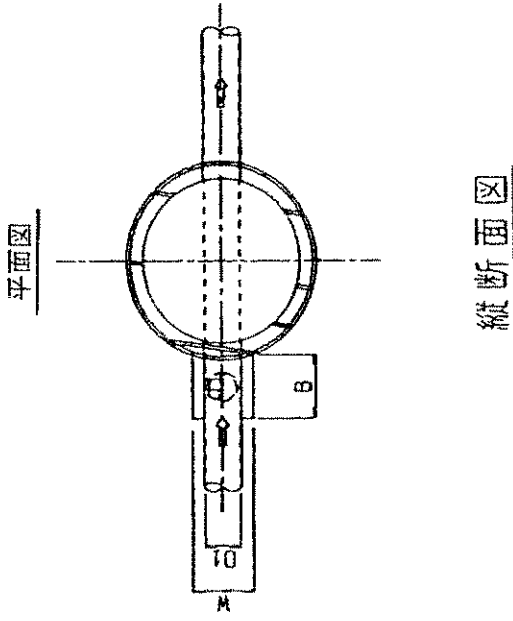
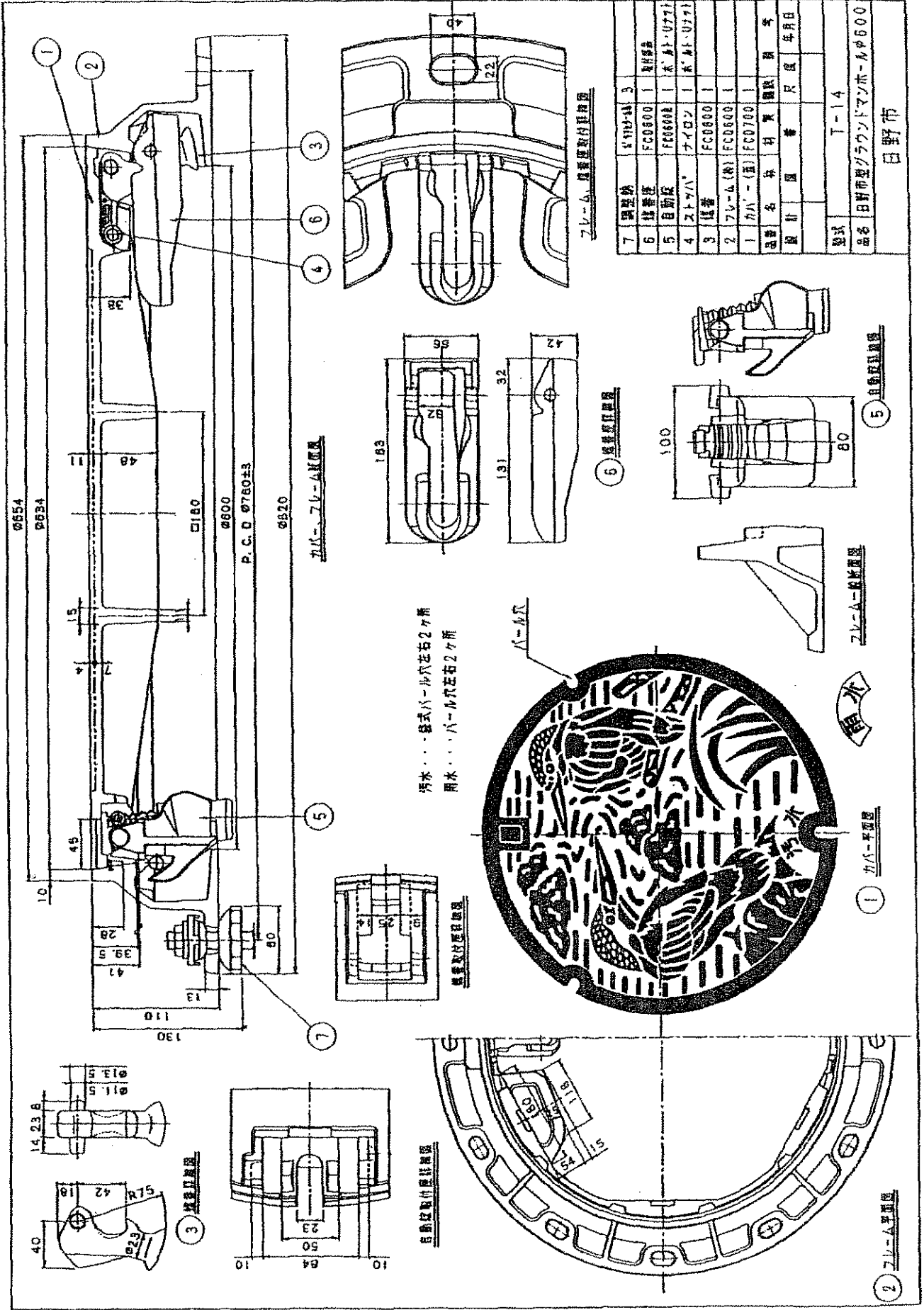
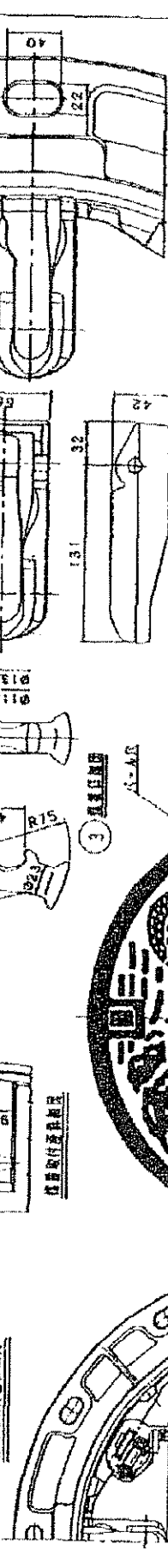
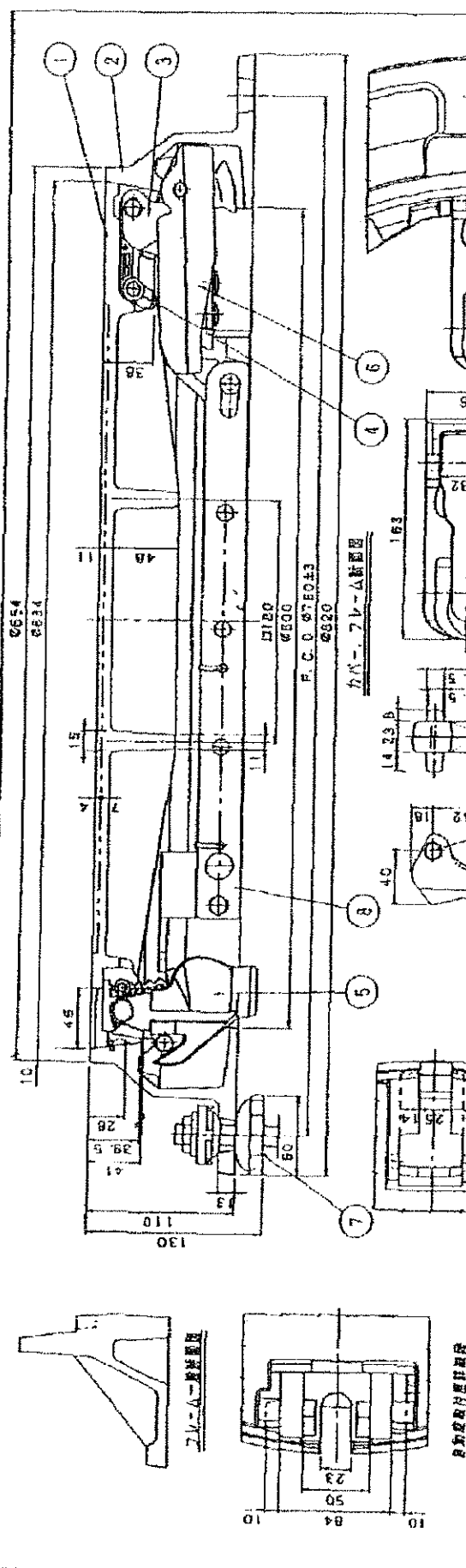


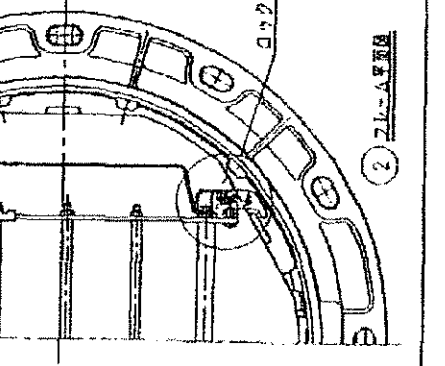
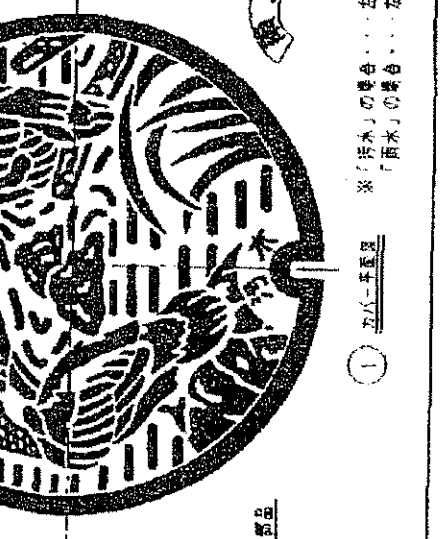
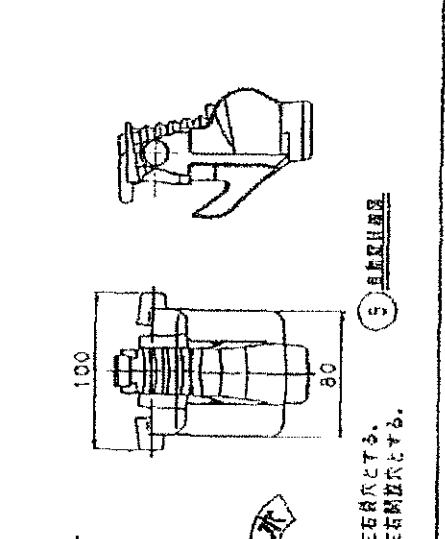
図-5 マンホール口環・鉄蓋標準図



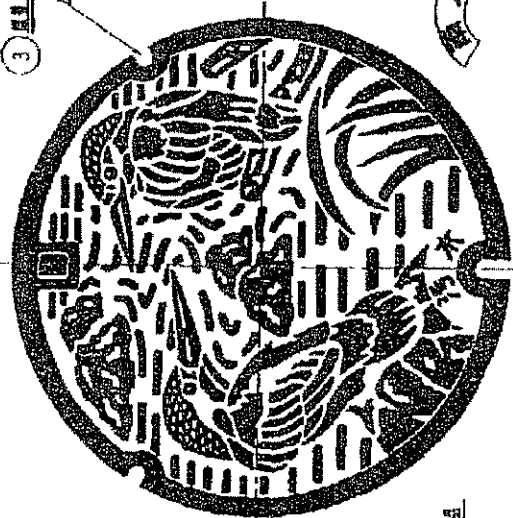
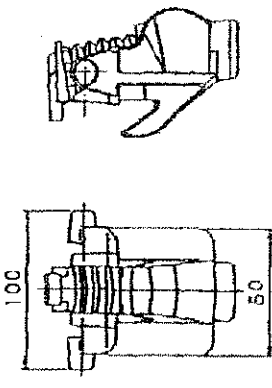
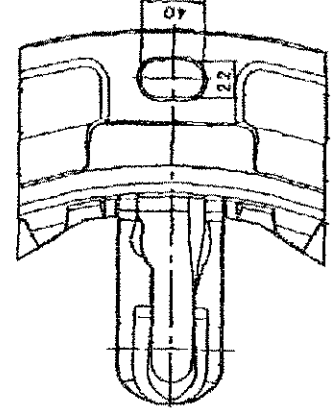
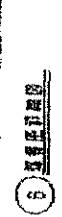
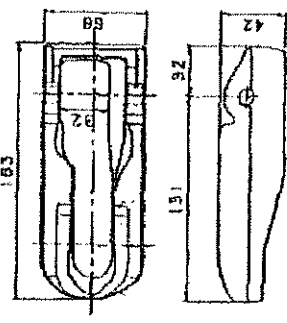
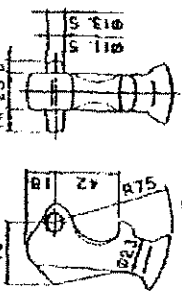
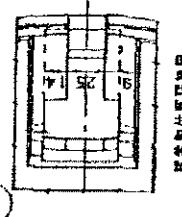
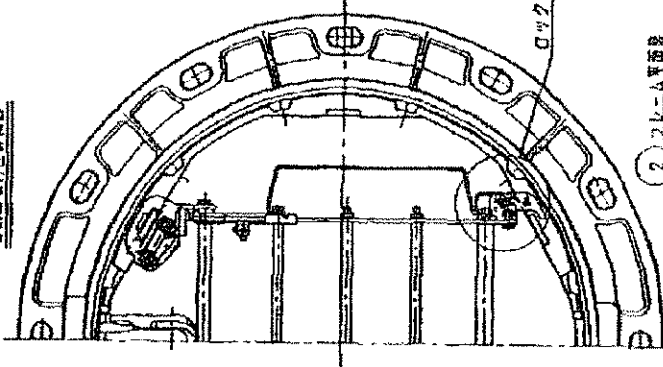
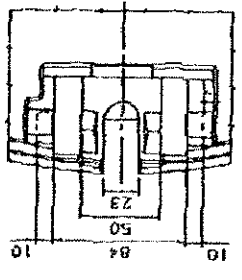
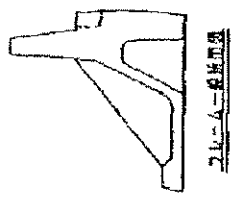
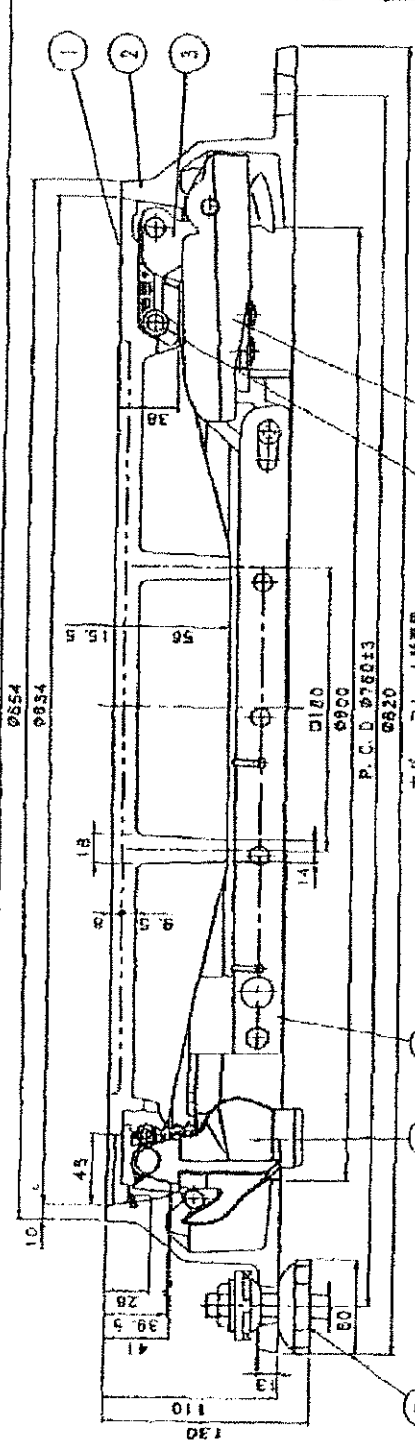


7-14 新規格用部品の図 5 調整部品の図

8	新規格用部品の図	1
7	調整部品の図	3
6	調整部品の図	1
5	調整部品の図	1
4	調整部品の図	1
3	調整部品の図	1
2	調整部品の図	1
1	調整部品の図	1
品名		調整部品の図
設計	図	年 月 日
式名		7-14 新規格用安全体子付
品名		調整部品の図



※「折水」の命令... 左右折水とする。
 「雨水」の命令... 左右折水とする。



(1) カバ-平頂型 ※「汚水」の場合...左右長尺とする。
「雨水」の場合...左右同長尺とする。

フレイムシールド仕様表

6	駆動部	FC0500	1
7	シリンダ	FC0500	1
8	シリンダ蓋	FC0500	1
9	ボルト	FC0500	1
10	フレイムシールド	FC0500	1
11	自動動作部	FC0500	1
12	カバ-	FC0500	1
13	カバ-平頂型	FC0500	1
14	カバ-半頂型	FC0500	1
15	カバ-全頂型	FC0500	1
16	カバ-全頂型	FC0500	1
17	カバ-全頂型	FC0500	1
18	カバ-全頂型	FC0500	1
19	カバ-全頂型	FC0500	1
20	カバ-全頂型	FC0500	1
21	カバ-全頂型	FC0500	1
22	カバ-全頂型	FC0500	1
23	カバ-全頂型	FC0500	1
24	カバ-全頂型	FC0500	1
25	カバ-全頂型	FC0500	1
26	カバ-全頂型	FC0500	1
27	カバ-全頂型	FC0500	1
28	カバ-全頂型	FC0500	1
29	カバ-全頂型	FC0500	1
30	カバ-全頂型	FC0500	1

(2) フレイムシールド

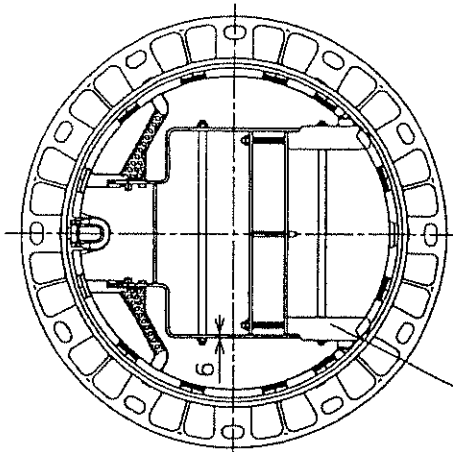
(3) カバ-平頂型

(4) カバ-半頂型

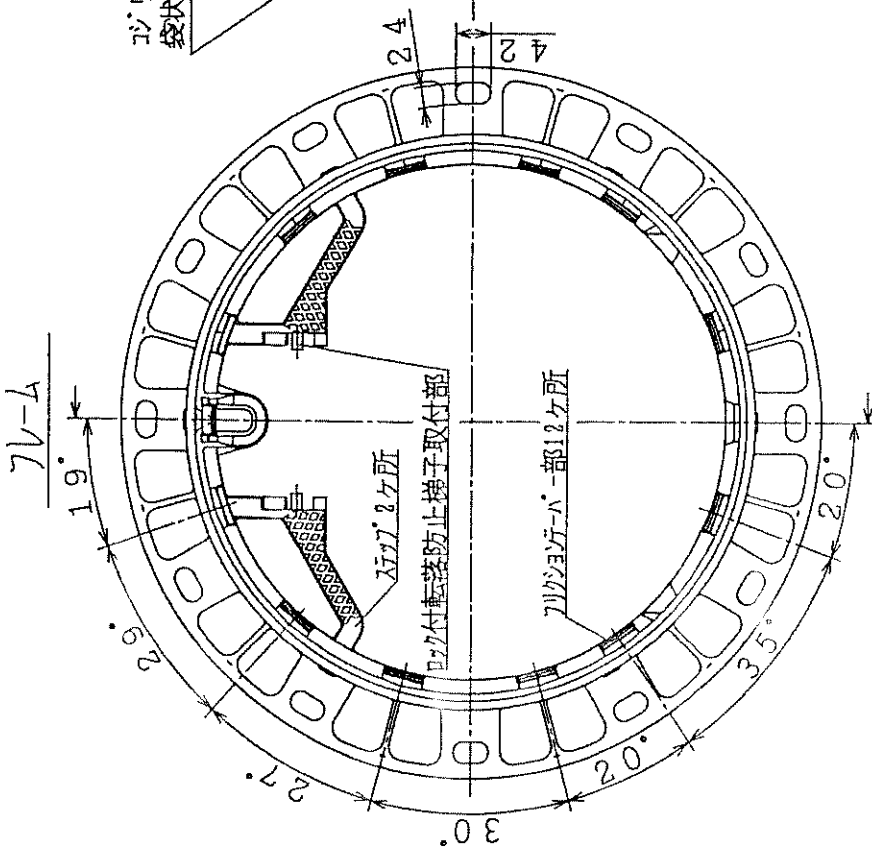
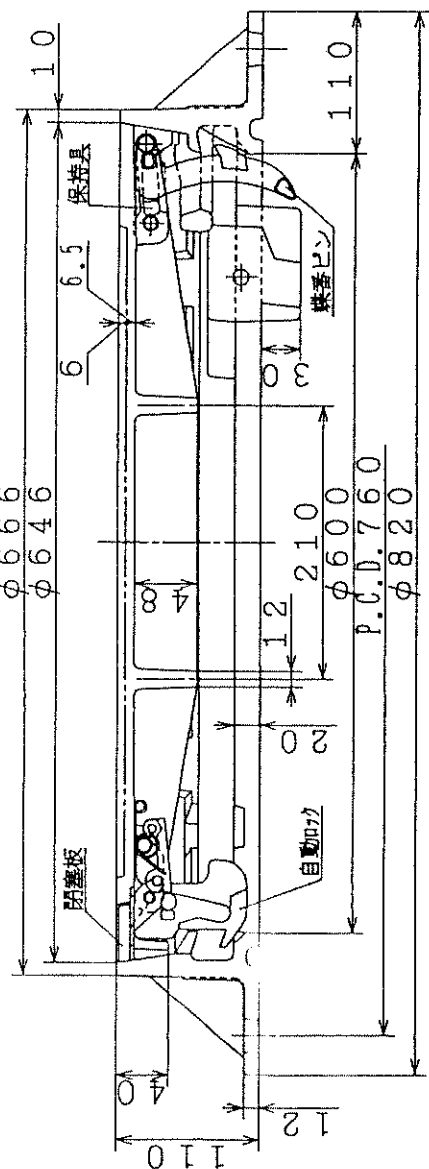
(5) カバ-全頂型

型式 T-25 乾粉型全安全種子付
品名 日野型ガソリンポンホーンが600

ロック付転落防止梯子取り付け場合



ロック付転落防止梯子
※梯子ハブがシッピン入。



ツリ穴 ヌハ
袋状ツリ穴2ヶ所
スリップサイン8ヶ所
カバー



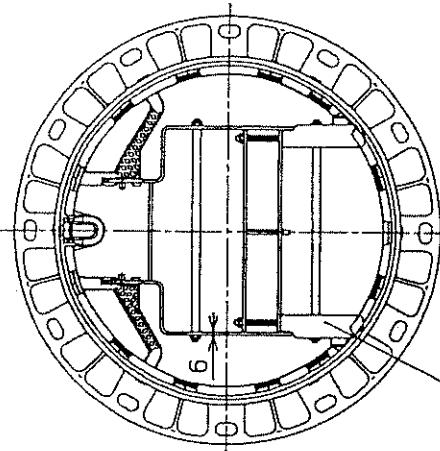
開閉用ツリ穴
係止

部ハ、柄高サ6mm
部ハ、柄高サ4mm

※汚水～袋状コジリ穴2ヶ所
※雨水～コジリ穴2ヶ所

要 質		材	
カバ-	F C D - 7 0 0		
フレー-A	F C D - 6 0 0		
品 名	日野市型グラウンドマンホールφ600		
種 類	T - - I - 4	用	
作図年月日		縮尺	
数 計	製 図	写 図	校 図
日	野	市	

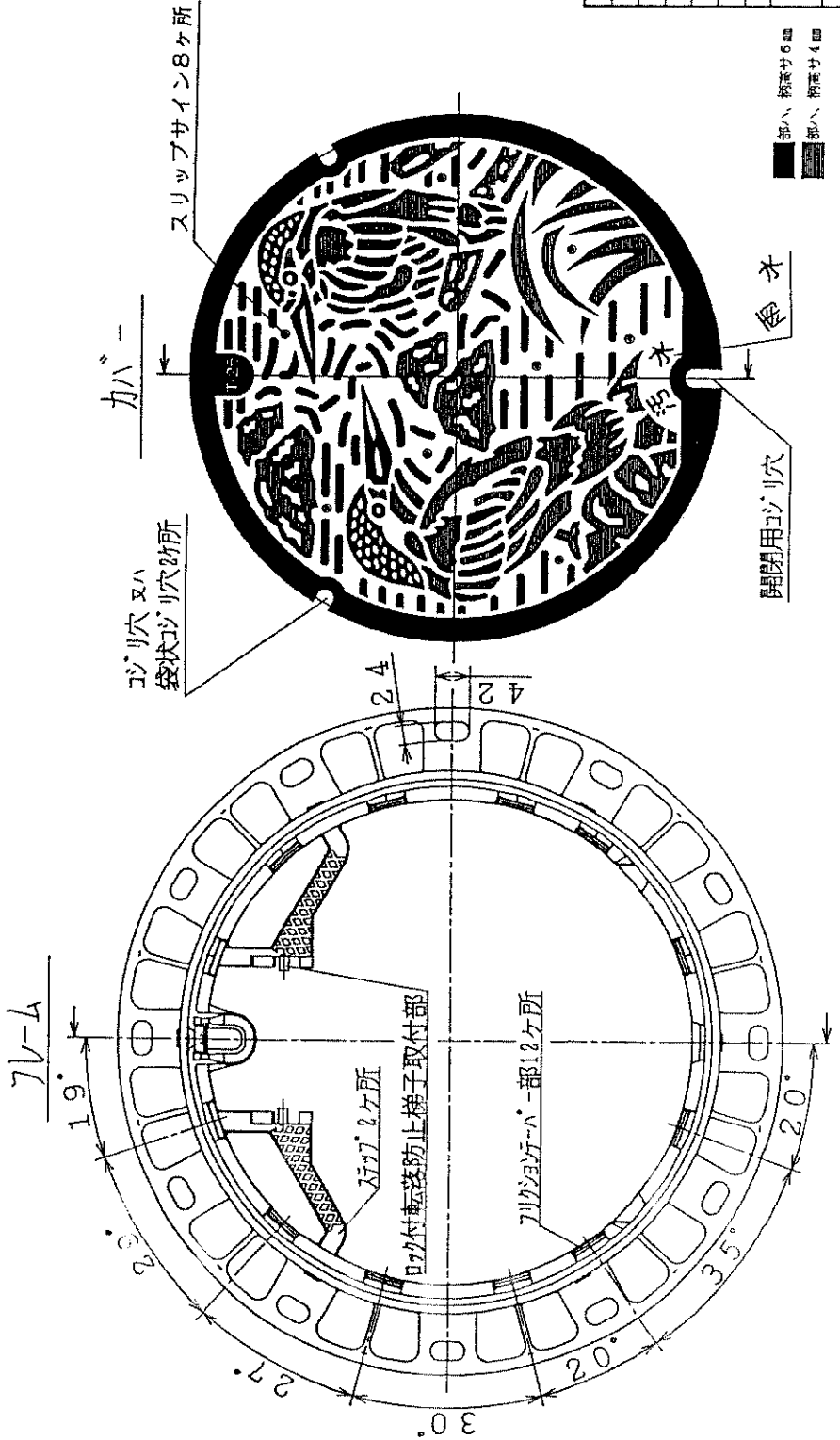
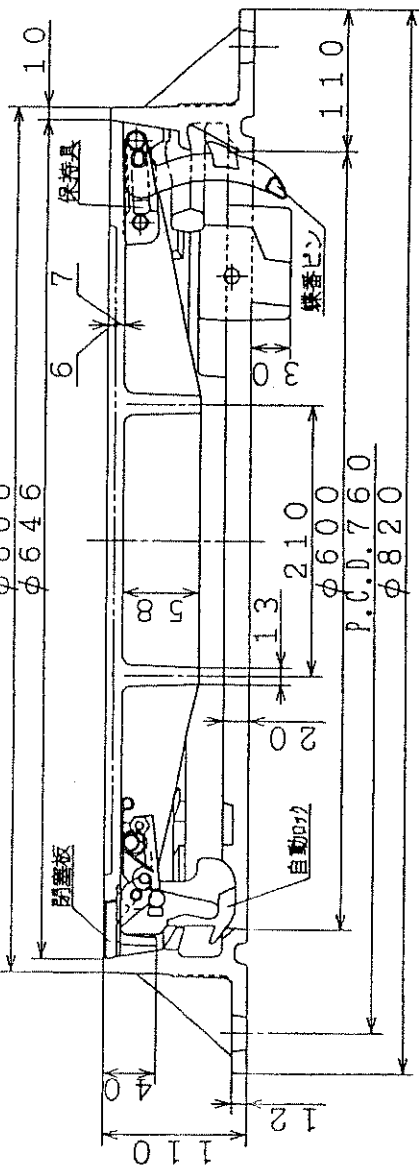
ロック付転落防止梯子ヲ取付ケタ場合



ロック付転落防止梯子
※梯子ハ、打シテ取入

※汚水〜袋状コシリ穴2ヶ所
※雨水〜コシリ穴2ヶ所

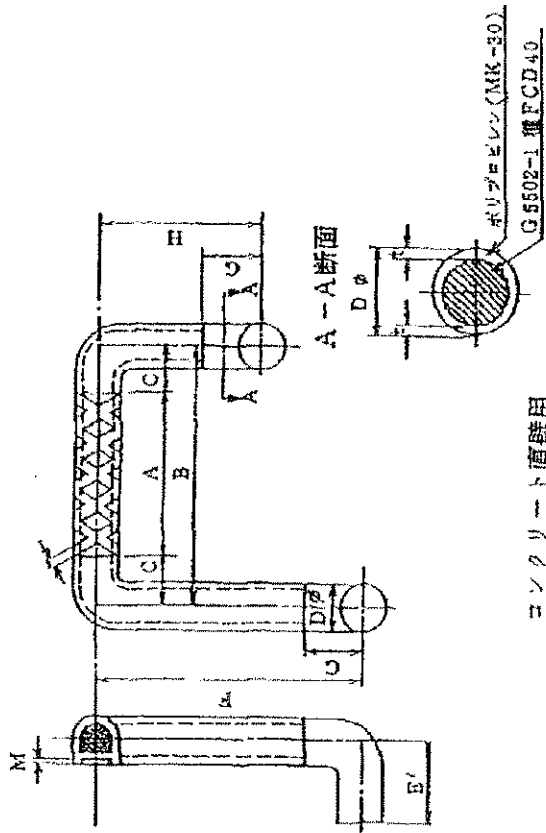
種別	材料	数量	単位	備考
カバー	FC D - 7 0 0			
フレイム	FC D - 6 0 0			
品名	日野市型グラウンドマンホールφ600			
種別	T	2	5	用
作図年月日			縮尺	
設計			写	
計			図	
日			図	
			検	
			図	
			市	



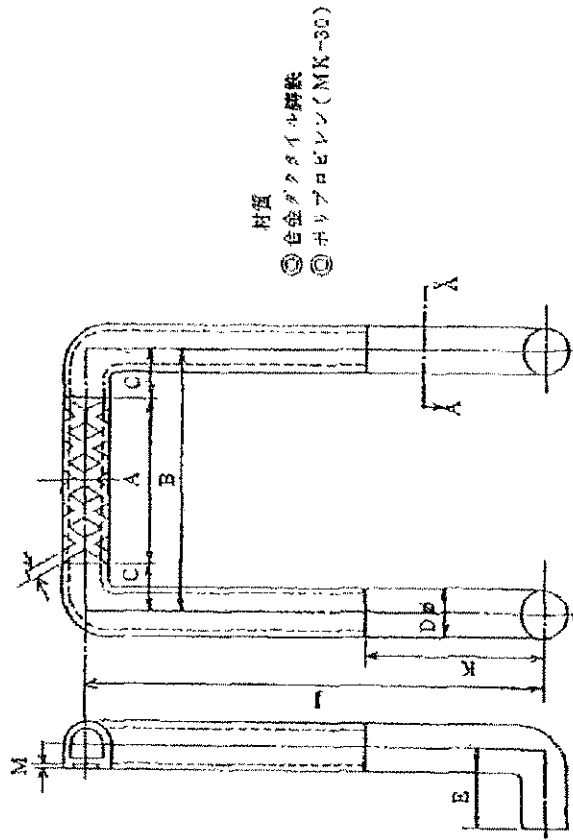
部ハ、高さサ6mm
部ハ、高さサ4mm

図-6 足掛金物 (ポリプロピレン防錆被覆)

人孔側塊用



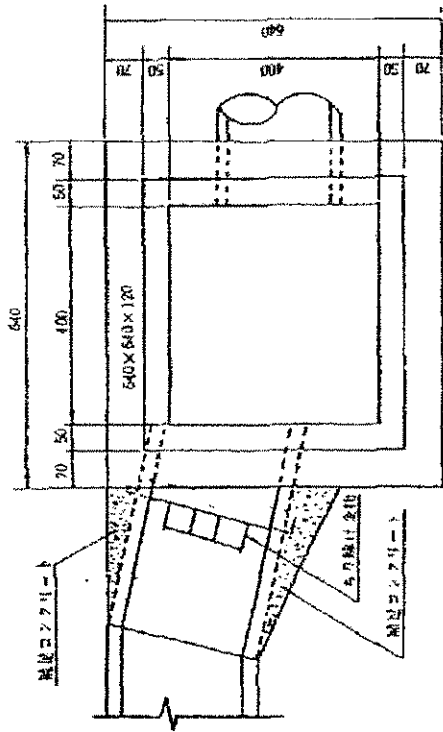
コンクリート直壁用



記号	A	B	C	D ϕ	E	F	G	H	J	K	L	M	L	
寸法	80	128	24	22	39	126	29	78	228	89	5	49	1	4

図-7 集水柵構造図

平面図



断面図

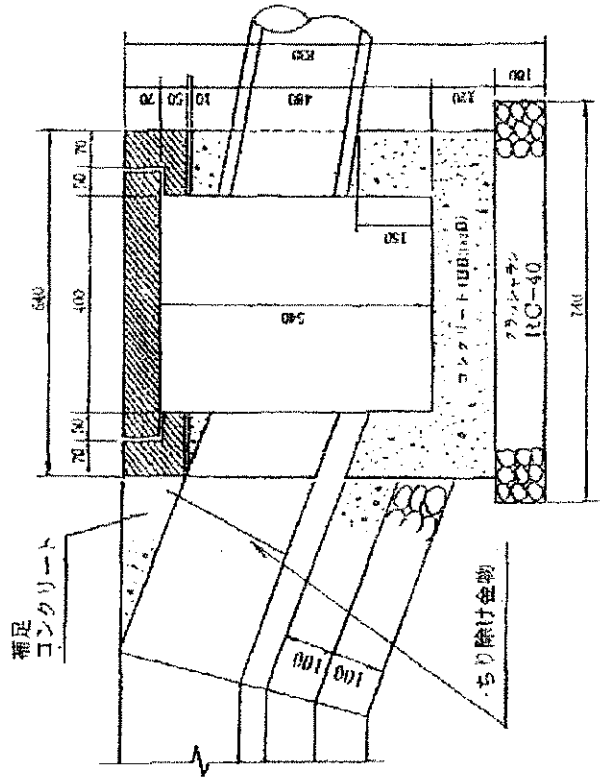


図-9 雨水枡標準構造図 縮尺1:20

(プレキャスト)

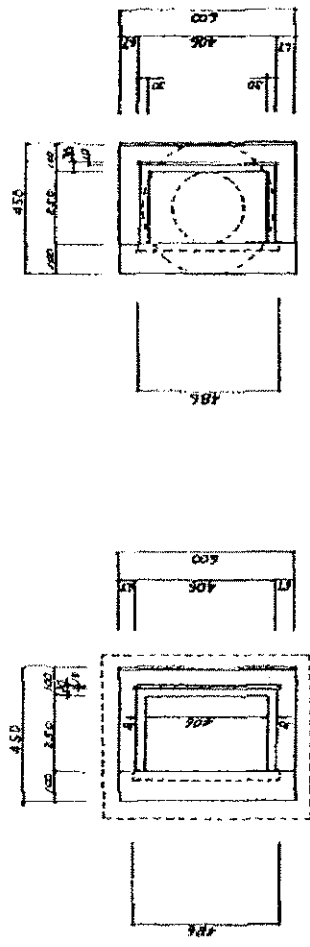
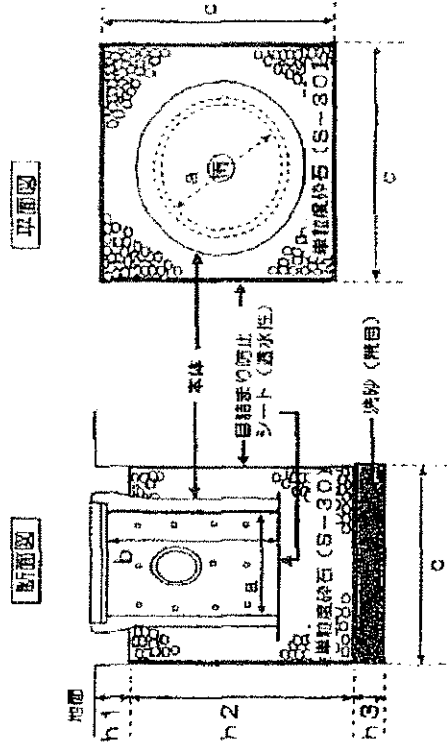


図-10 雨水浸透施設標準構造図

1. 浸透ます



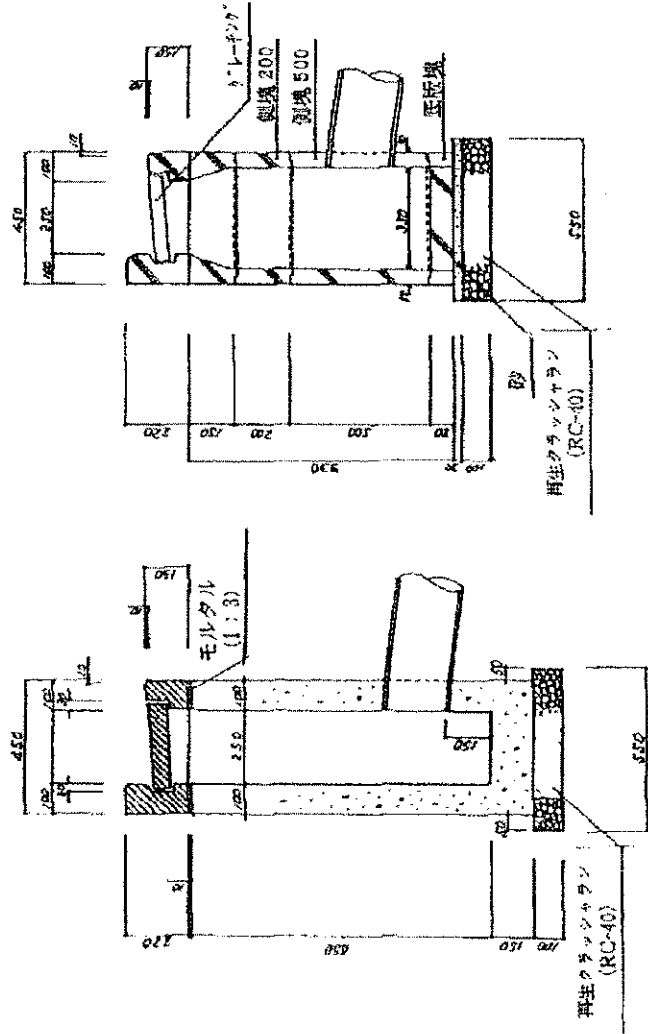
※ 砕石は単粒砕石です。呼び名が「S-30」迄の大きさはの範囲は20mm~30mmのも
 のです。洗砂は雑目です。
 ※ 横穴等壁面から雨水を浸透できるもの。

浸透ます寸法表

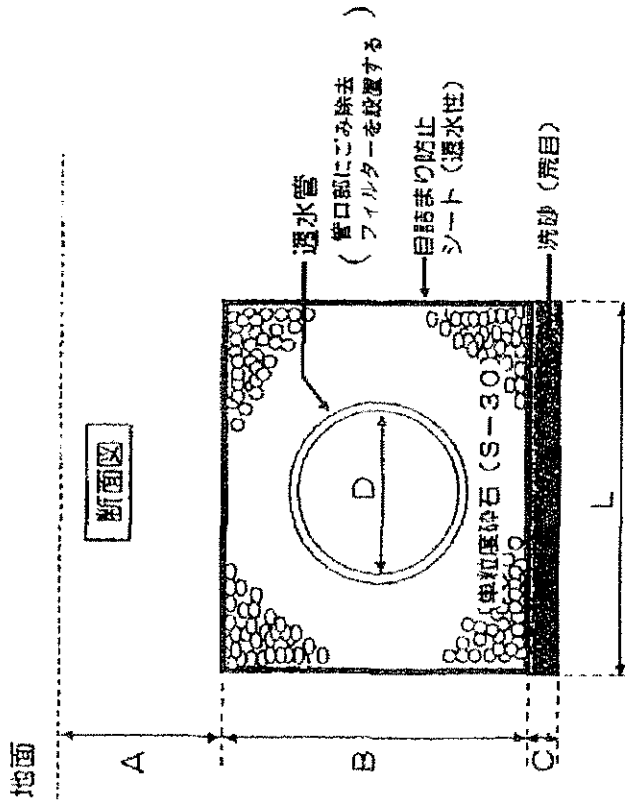
規格	ますの径 (mm)	深さ (mm)	1ますあたり処理能力 (m ³ /臺・h)
PI	φ150	400	0.135
PII	φ200	400	0.240
PIII	φ260	500	0.352
PV	φ300	500	0.465
PVI	φ360	500	0.734
PVII	φ400	500	1.074
PVIII	φ500	800	1.859

型番	ますの長さ a	ますの高さ b	h1	h2	h3	総別径 C
PI	150	400	100	300	25	300
PII	200	400	100	390	25	400
PIII	250	500	100	510	30	500
PV	300	500	100	510	30	500
PVI	360	500	100	630	35	700
PVII	400	500	100	630	35	800
PVIII	500	800	100	680	50	1000

※ 日野市雨水浸透施設技術基準による。



2. 浸透トレンチ



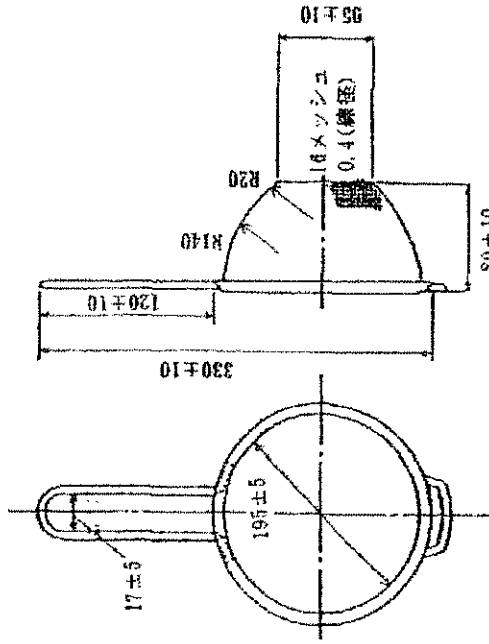
注) 施工条件によって砂層の高さ、管径を変えることもある。

浸透トレンチ寸法表

規格	断面形状	管径 (mm)	1m当りの処理能力 (m ³ /m ² ・h)	
			管径 (mm)	処理能力 (m ³ /m ² ・h)
TI	250X300	φ75		0.190
TII	300X350	φ100		0.270
TIII	350X400	φ125		0.352
TIV	400X450	φ150		0.430
TV	550X600	φ200		0.970
TVI	750X750	φ200		1.858

ゴミ除去フィルター (参考図) (規格)

- ① 材質：塩ビまたはステンレス製。
- ② 機能：浮遊物が除去できること。



(単位:mm)

型番	トレンチの幅	トレンチの高さ (B+C)	砂層の高さ C	土かぶりA	管径D
TI	250	300	20	150	75
TII	300	350	25	150	100
TIII	350	400	25	150	125
TIV	400	450	30	150	150
TV	550	600	40	200	200
TVI	750	750	50	200	200

* 日野雨水浸透施設技術基準による。

「中高層建築物・その他の建築物」に係る雨水浸透計算書

■計画雨水量

(敷地面積) (流出係数) (降雨量)
 $\boxed{} \text{ m}^2 \times 0.70 \times 0.05 = \boxed{a} \text{ m}^3$

■計画浸透量

(浸透マス) (別表による浸透量) (設置数)
 $\boxed{P} \text{ 型} \rightarrow \boxed{} \text{ (m}^3/\text{基}\cdot\text{h)} \times \boxed{} \text{ 基} = \boxed{b} \text{ m}^3$

(浸透トレンチ) (別表による浸透量) (設置距離)
 $\boxed{T} \text{ 型} \rightarrow \boxed{} \text{ (m}^3/\text{基}\cdot\text{h)} \times \boxed{} \text{ m} = \boxed{c} \text{ m}^3$

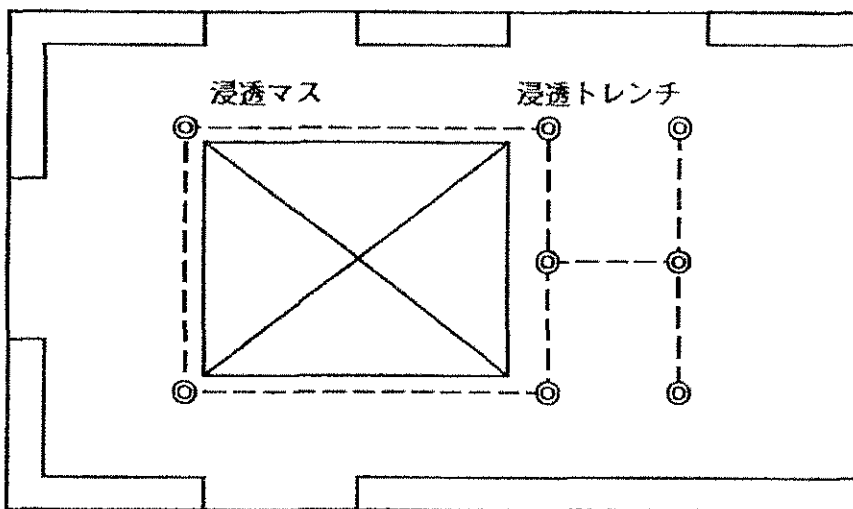
■総浸透量

$b + c = \boxed{d} \text{ m}^3$

計画雨水量 $\boxed{a} \text{ m}^3 < \boxed{d} \text{ m}^3$ —OK

*都市計画法第29条「開発行為」及び「宅地造成等規正法」に基づく雨水浸透計算式は東京都の基準による。

配置図



----- 浸透トレンチ

⊙ 浸透マス

図一11 消防用貯水槽標準構造図

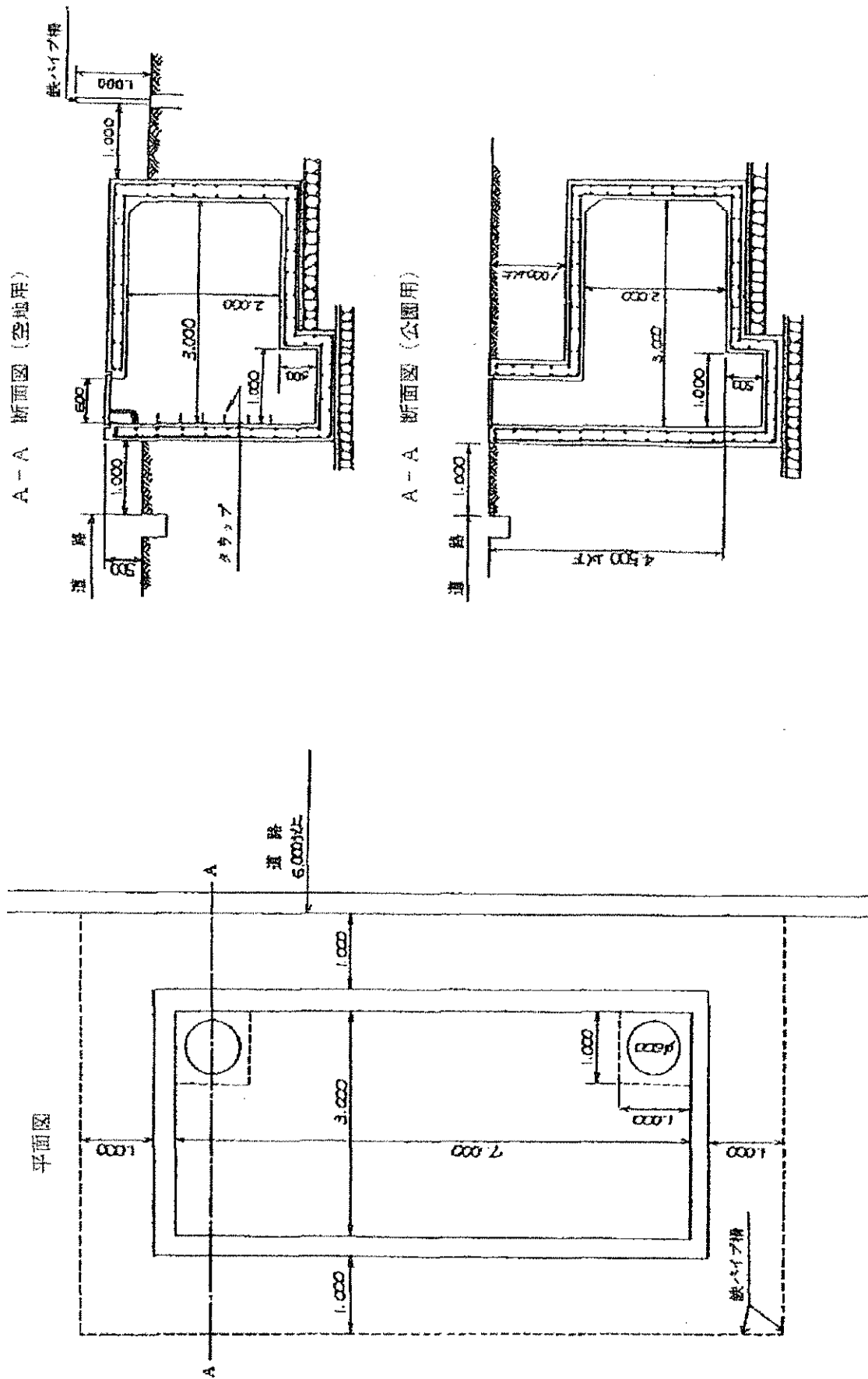
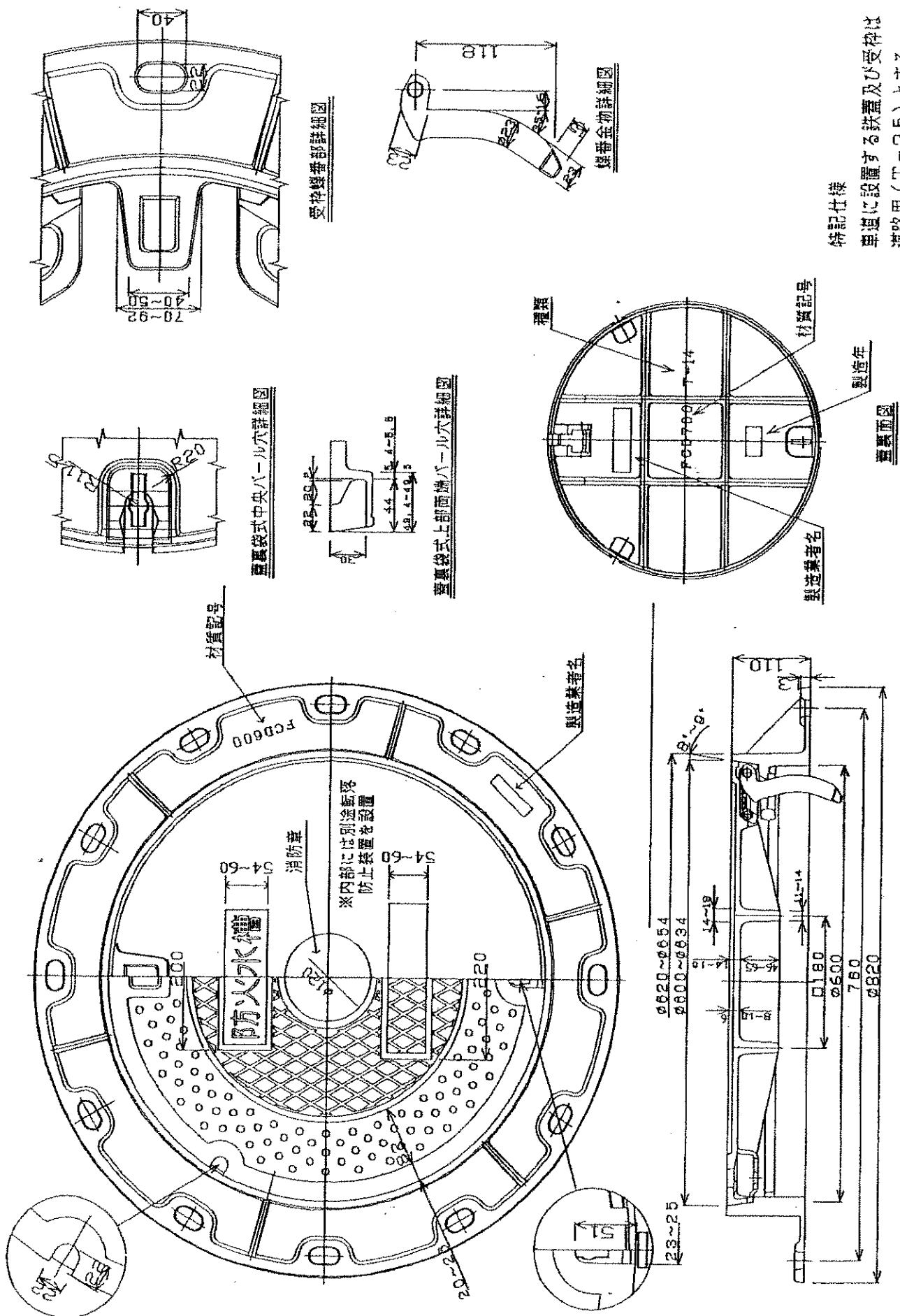
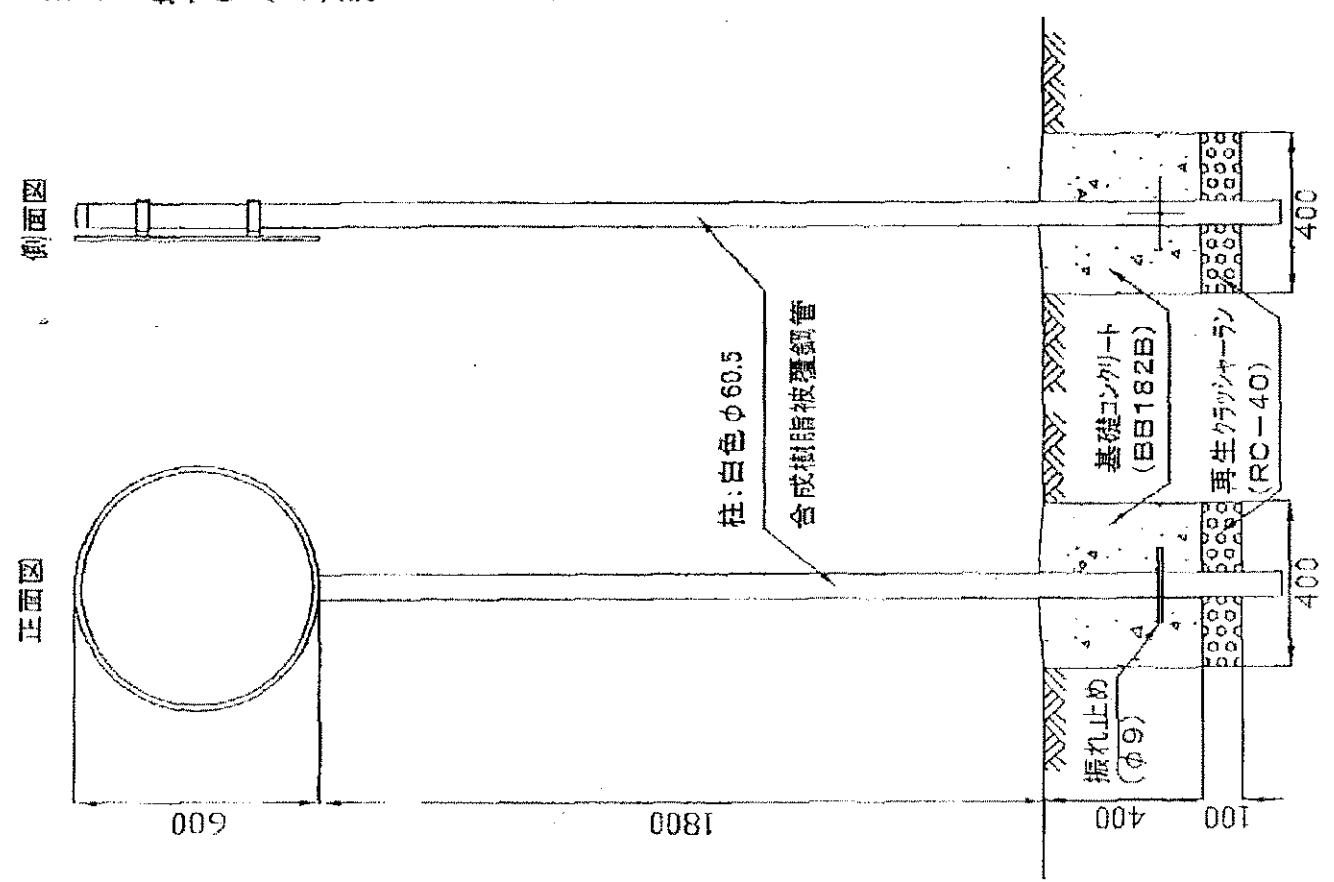


図-12 防火水槽鉄蓋・受枠構造図



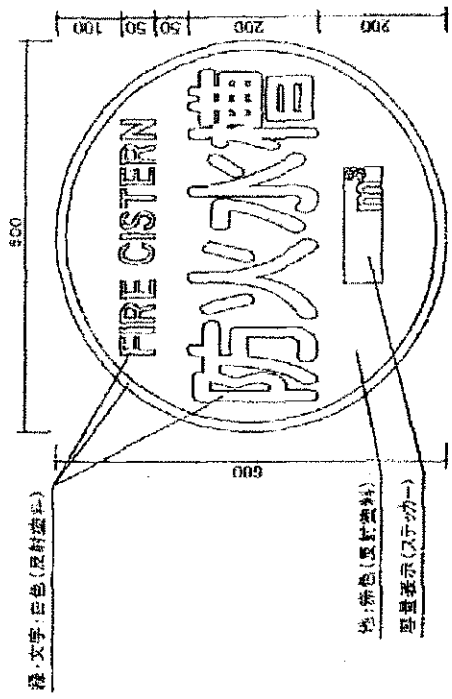
特記仕様
 単邊に設置する鉄蓋及び受枠は
 道路用(T-25)とする。

図一13 消防水利等の標識

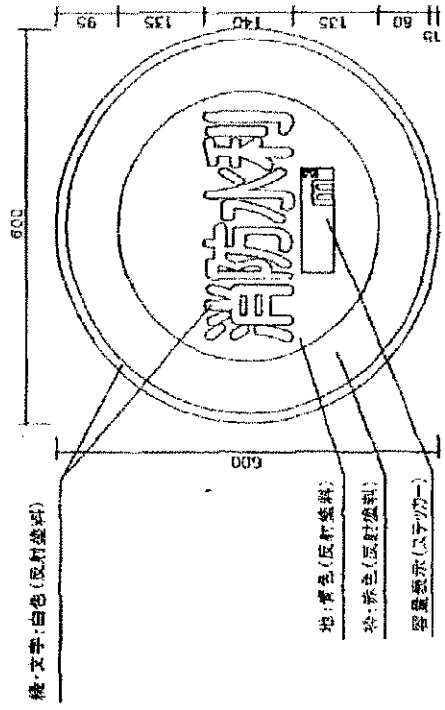


※表示板を図示の取付け方によって取付けることが著しく困難又は不適当である場合は、他の方法によることができる。

(1) 防火水槽標識(市に帰属する場合)



(2) 指定消防水利標識(市に帰属しない場合)



質量表示の仕様 (単位:mm)

- 1 ステンレスの大きさ (枠: 60 × 横150)
- 2 文字の大きさ等 枠: 白色 文字: 黒色 (数字: 縦50 × 横20) (m3: 縦50 × 横45)